

事業概要

1) 会議の名称

和文名：第11回電子分光電子構造国際会議

英文名：11th International Conference on Electronic Spectroscopy and Structure (ICESS-11)

2) 会期

2009年10月6日(火)～10月10日(土)

3) 開催場所

奈良県新公会堂

〒630-8212 奈良市春日野町101

TEL:0742-27-2630 FAX:0742-27-2634

4) 主催・協賛

(1) 主催

ICESS-11 組織委員会

(2) 協賛(予定)

応用物理学会、化学工学会、軽金属学会、原子衝突研究協会、高分子学会、触媒学会、石油学会、石油技術協会、日本化学会、日本金属学会、日本顕微鏡学会、日本材料学会、日本真空協会、日本真空工業会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会、日本表面科学会、日本物理学会、日本分光学会、日本分析化学会、日本放射光学会、日本油化学会、表面技術協会、PF 懇談会、SPring-8 利用者懇談会、UVSOR 利用者懇談会、VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会、広島大学 SR センター、立命館大学 SR センター

(3) 後援

(財) 奈良コンベンションビューロー

5) 組織委員長

大門 寛 (奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 教授)

6) 組織委員会事務局住所

〒630-0192 生駒市高山町 8916-5

奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科

7) 参加予定国

(アジアオセアニア) オーストラリア、中国、インド、日本、韓国、サウジアラビア、シンガポール、台湾、タイ、トルコなど

(ヨーロッパ) オーストリア、ベルギー、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、ウクライナなど

(南北米) アルゼンチン、ブラジル、カナダ、メキシコ、アメリカなど

8) 参加予定者数

約400名 (日本から約300名、海外から約100名)

9) 公用語

英語

10) 学会主要テーマ

テーマは、工学的応用から基礎に渡る実験的及び理論的研究を含む以下のようなものである。

- ◆ 全ての光電子分光・Auger 電子分光。共鳴励起や脱励起などを含む。
- ◆ 原子・分子やイオンの電子分光
- ◆ 軟X線発光・吸収端X線吸収分光、共鳴・非共鳴X線散乱、X線光学測定
- ◆ 低エネルギー・高エネルギーでの電子エネルギー損失分光。電子励起や振動励起などを含む。
- ◆ 光や電子を用いた分光顕微鏡と顕微分光。実験室X線源、放射光、電子線を用いるもの。電子顕微鏡でのエネルギー損失分光を含む。
- ◆ 励起断面積、緩和過程、多電子効果

- ◆ 種々の偏光を用いた測定、スピン検出、時間分解測定など、種々の完全実験。
- ◆ 電子を用いたコインシデンス分光
- ◆ 光電子、Auger 電子、その他の電子の回折とホログラフィー。蛍光 X 線ホログラフィー。
- ◆ 走査トンネル分光と関連した電子分光
- ◆ 実験室および放射光測定装置の開発
- ◆ 電子構造や電子ダイナミクスおよびそれらの実験結果を記述する理論
- ◆ フェムト秒・アト秒分光
- ◆ 高調波発生や自由電子レーザーとその希薄試料への応用
- ◆ 上記手法の原子、分子、液体、表面／界面、ナノ構造、クラスター、触媒、環境物質、新奇物質、強相関物質、磁性物質、生体関連物質、産業分析などへの応用

12) プログラム概要

- Plenary Lecture 10
- Invite 38
- Oral 45
- Poster 360

13) 大会組織

国内組織委員会

大門 寛 (奈良先端科学技術大学院大学) (組織委員長)
尾嶋正治 (東京大学)、川合真紀 (東京大学)
河野省三 (東北大学)、小杉信博 (分子科学研究所) (プログラム委員長)
辛埴 (東京大学)、増田茂 (東京大学)

国際組織委員会

Maria-Carmen Asensio (Spain)、Arnaldo de Brito (Brazil)、Hiroshi Daimon (Japan)
Charles S. Fadley (USA)、Hans-Joachim Freund (Germany)
Wolfgang Eberhardt (Germany)、Adam P. Hitchcock (Canada)、Zahid Hussain (USA)
Xiaofeng Jin (China)、Klaus Kern (Germany)、Nobuhiro Kosugi (Japan)
Shigeru Masuda (Japan)、Vadim Nefedov (Russia)、Joseph Nordgren (Sweden)
Se-Jung Oh (Korea)、M.N.Piancastelli (Sweden)、Jean-Jacques Pireaux (Belgium)
Maarten Vos (Australia)、Anatoliy P. Shpak (Ukraine)、Marc Simon (France)
Kevin Smith (USA)、Kevin Prince (Italy)、Peter Weightman (UK)、Wolfgang Werner (Austria)

現地実行委員会

大門 寛 (奈良先端大)
越川孝範、安江常夫 (大阪電通大)
服部賢、武田さくら、松井文彦、川口優加子 (奈良先端大)
株式会社インターグループ、(財)奈良コンベンションビューロー